第425号

広報あくね

阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数（6月1日調在）	
人口	29,956（－4）
男	13,967（－4）
女	15,989（ 0）
世帯数	9,603（＋7）

祝 市制施行30周年

盛大に式典や記念行事

記念式典に先だち園児や小学生四百五十人による祝賀パレード　式典に華を添える

☆主な内容☆

二㌻～九㌻
三十周年特集
（式典のようす、30年のあゆみ、写真特集）
十㌻～十一㌻
総合表彰式
臨時市議会
十二㌻
高校総体いよいよ本番
十四㌻
丸内に粗大ゴミ処理場完成
十五㌻
わたしたちの学校
十六㌻～十七㌻
市民のひろば
十八㌻
お知らせコーナー

6月号

混乱期から30年

阿久根市長　**川畑　強**

郷土阿久根市が市制を施行し、本年満三十年という記念すべき年を迎えましたことを三万市民の皆様と共に、心からお喜びを申しあげます。

顧みますと本市は終戦間もない昭和二十七年四月混乱と欠乏の極めて悪条件の中で、県下六番目の市として誕生したのであります。

以来三十年。私たちの先輩は一致協力して郷土復興を成し遂げ、昭和三十年四月には三笠町を合併し、農林水産業を中心にした北薩地区の中心都市として充実した市民生活、ゆとりとうるおいのある地域社会の創造を目指して、明るく豊かな地域づくりが着々と進められてまいりました。

その間、数多くの先輩のご尽力と市民各位のたゆみない努力のお陰で、今日においては街並の面目を一新し、今昔の感に堪えないものがあります。

とくに、産業振興の基盤であります市道をはじめとする道路網の整備、青少年の健全育成、教育振興の立場から教育施設、設備の整備充実、その他快適な市民生活を営むための生活環境の改善、市民福祉の向上等温かい連帯感に満ちた、豊かな街が形づくられるよう努力を重ねてまいったのであります。

いずれにいたしましても長い年月を重ねての先輩諸賢のご労苦と業績の現れであると確信いたします。

私たちはこの意義ある三十周年を大切な節目として記念式典を始め、諸記念行事を実施して、多年にわたり市政発展に献身的にご活躍、ご尽力いただいた方々のご功績をたたえ、祝福申しあげますとともに、永い年月の間、先達のご苦労のお陰で今日の阿久根市の繁栄が在ることに感謝し、市民こぞってこれをお祝いし、今後の市勢の発展に努力すべく決意を新たにいたしたところであります。

この豊かな大地と黒潮ひた寄せる美しい郷土阿久根市がさらにさらに逞しく飛躍発展を続け、真に明るく豊かな活力のある郷土を実現するために、皆で力を合せ頑張ろうではありませんか。若者に魅力のある街をつくろうではありませんか。

私は市民の心を心として三万市民の皆様とともにしっかりと手を握り、市勢の浮揚発展のため信念をもって諸施策を積極的に推進してまいります。

市民の皆様方の市政に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

将来への発展、誓い新たに

市民八百人が参加して記念式典

市制施行三十周年を祝う記念式典が、五月十四日市民会館ホールで行われ、鎌田県知事をはじめ県内外の来賓の方々、それに市民八百人が出席し、新たな阿久根市の将来への発展を誓いました。

午前十時、新炉助役が開会を宣言して式典は始まり、阿久根中学三年生の新増浩子さんら市内の中学生十二人が市民憲章を力強く朗読しました。

川畑市長は「ここに三十周年という記念すべき年を迎えました。この三十年多くの人たちのご努力と、市民のたゆまないご尽力によって阿久根市も着実に発展を続けてまいりました。今後は人口増対策を市政の最重点に、明るく、豊かな、活力ある郷土づくりのためみんなで力を合わせ、若者に魅力あるまちづくりに努力しましょう。」とあいさつしました。

市民 800人が参加して盛大な記念式典が行われた市民会館ホール

このあと、三十周年を記念して市政功労者の表彰が行われ、地方自治部門で前市長の坂元喜文氏ら四十六人が、教育文化部門で元教育長の黒崎栄氏ら九人、また産業経済部門では三笠町農協長の平石正美氏ら十四人が、一般篤行部門で本町区の武田知三郎氏と二団体を表彰しました。

多くの来賓の方々を代表されて鎌田要人県知事や有馬元治衆議院議員、上園辰己県議会議長が「三十年の重い歴史を持つ阿久根市は、記念すべき三十周年を一つの大きな区切りとして、今後ますます市、議会、市民一体となって地域振興のため、大阿久根市発展のため今後も努力してください。」と祝福しました。

記念式典に先だって午前九時から祝賀パレードも行われ、園児や小学生四百五十人が参加しました。

あいにくの小雨模様のなか祝三十周年の横断幕とバトンガールを先頭に市民会館から国道三号を駅前まで、漁協から中央公園下港橋通りとパレードしました。

沿道には市民多数がつめかけ、パレードを祝福。また、高松橋から駅前までは阿久根小学校の児童全員が出てパレードを出迎え、小旗を振って三十周年を祝っていました。

式典のあとは市民体育館に会場を移して祝賀式が盛大に行われました。特設舞台が設けられた会場では山下校区婦人会による「あぜろく」、赤瀬川地区による「棒踊り」、牛之浜区の松永徳栄さんの民謡、脇本松ケ根区の「はちらき踊り」、浜婦人会の「相撲甚句」や「ハンヤ節」などの郷土芸能が披露され祝賀式に華を添えました。

また、午後二時三十分からは市民会館ホールで、陸上自衛隊国分音楽隊による演奏会が行われ、市民五百人の聴衆がつめかけました。

浜田准尉指揮により、「ソーラン節」などの民謡から、「スーザン行進曲」など二十二曲を一時間にわたってたっぷり演奏。市民もみごとな演奏にうっとり聞き入っていました。

三十周年記念式典は、市民皆さま方のご協力により無事終了できました。

ここにお礼を申しあげます。

今後も阿久根市発展のためにさらに一層のご理解ご協力をお願いいたします。

んだ30年

る街づくりを

市制施行のころ

「戦災地阿久根はその中枢市街地はもとより一部村落に至るまで灰燼に帰し、当時再建不能を思わしめる状態であったが、幸に町民の旺盛なる復興意欲と弛まざる努力とにより驚くべき復興振りとはんえいを見せ活気ある街として外来者からも注目されるようになったが、大阿久根建設を早くから目論んでいた松田町長は、都市計画の進捗に、築港の整備に、上水道の敷設に将亦戦災学校の再建に、産業の振興に意を注ぎ、都市的形態を整えるに至った。更に経済的な発展と社会文化の向上を図り町民の福祉増進、共存共栄の実を挙げるため年来の抱負たる市政実施を決意し、議会に之を諮った。もとより議会においても牧内議長はじめ各議員ともこれについて調査研究がなされていたが、更に慎重なる検討を加えた結果市制実施への結論に達し、そこで全住民の意向を聴いたのであるが、世論亦早急なる市制実現を望み、県当局並びに県議会においてもよく民意を汲み以て四月一日を期して希望に輝く新生阿久根市の誕生をみるに至った」……市制施行記念市制要覧で市制実施に至るまでこのように述べてある。ここに人口三万一千八百五十九人、鹿児島、川内、鹿屋、枕崎、串木野に次いで六番目の市としてスタートしたのである。

大川小の今年の新１年生

33年	3月	商工会が阿久根商工会議所に昇格する。
33年	4月	脇本に市立保育所を設立する。
33年	4月	ＮＨＫ、ＭＢＣ阿久根放送局が開局する。
33年	6月	阿久根港改修工事が竣工する。
35年	7月	港橋が竣工する。
35年	10月	阿久根郵便局が普通郵便局に昇格する。
37年	2月	倉津灯台が竣工する。
37年	5月	大川診療所が開設される。
37年	7月	市制１０周年記念式典が開催される。
37年	7月	阿久根港が第３種漁港に昇格する。
38年	8月	聖園老人ホーム、黒之浜灯台が完成する。
39年	2月	鮓庄右衛門名誉市民第１号となる。
39年	6月	鮓庄右衛門市立図書館を寄贈する。
39年	9月	東京オリンピック聖火阿久根に一泊する。
40年	2月	九州皮革工場を誘致する。
40年	4月	阿久根市消防署が発足する。
41年	3月	市民会館が落成する。
42年	4月	農業構造改善事業に着手する。
42年	11月	阿久根電報電話局が完成、ダイヤル電話となる。
43年	11月	明治百年記念式典が行なわれる。
44年	3月	市民体育館が完成する。
44年	4月	高松川防災ダムが完成する。
46年	7月	集中豪雨による激甚災害が発生、死者１０人被害額２４億円にのぼる。
47年	3月	市営大型冷凍冷蔵庫が完成する。
47年	3月	総合グラウンドが完成する。
47年	4月	市制２０周年記念式典が行なわれる。
47年	10月	第27回国民体育大会ボクシング競技が行われる。
47年	11月	市内全域が即時通話となる。

倉津灯台完成

46年水害

49年	4月	阿久根市、東町、長島町の１市２町で阿久根地区消防組合を結成。広域消防の充実をはかる。
49年	4月	黒の瀬戸大橋の開通式が行われる。
49年	6月	「国民宿舎あくね」がオープンする。
49年	12月	市長　丹宗忠義去、名誉市民第２号となる。
50年	4月	県道阿久根～牛深線が国道389号線に昇格する。
51年	5月	松田進名誉市民第３号となる。
52年	3月	阿久根漁港第５次整備事業完工、産地水産物流通加工センター形成事業も同時に竣工する。
52年	10月	新市庁舎建設工事始まる。
53年	5月	鶴見地区都市計画事業に着工する。
53年	9月	新市庁舎完成し市役所移転、同時に消防署庁舎も新庁舎に移転する。
53年	12月	勤労者体育センター・老人福祉センターが完成する。
54年	4月	「国立阿久根療養所」が「国立療養所阿久根病院」に名称変更、施設の拡充整備が進む。
54年	11月	戸柱公園にフィールドアスレチック村が完成。
54年	12月	阿久根市食肉センターが完成する。
55年	12月	市民会館改装工事完成
56年	3月	大林・多田地区に上水道完成し、水道普及率98％になる。
57年	3月	保健センター・働く婦人の家が完成する。
57年	3月	脇本地区公民館が落成する。
57年	3月	Ｂ＆Ｇ阿久根海洋センターが完成する。
57年	3月	新阿久根市総合開発計画を策定する。

みんなと歩

若者に魅力あ

歴代市長

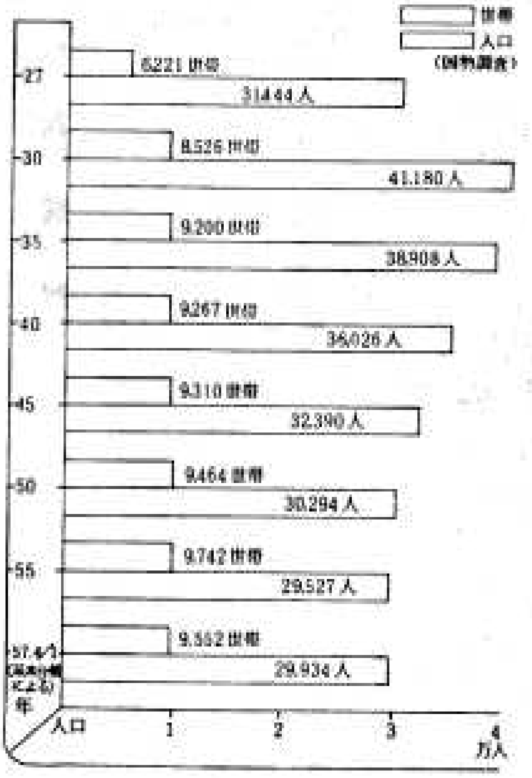
初代、二代
松田　進
自　昭和27年4月
至　昭和34年4月

三代～六代
丹宗　忠
自　昭和34年5月
至　昭和49年12月

七　代
坂元善文
自　昭和50年2月
至　昭和54年1月

八　代
川畑　強
自　昭和54年2月
　　現　在

30年の人口の動き



昭和27年頃の大川小の子どもたち

30年のあゆみ

市制を施行して三十年。阿久根市も厳しい情勢の中にあって、着実に歩みを続けてきました。東京オリンピック、国民体育大会の歓迎に沸きかえったあの年。集中豪雨に見舞れ、大きな被害を受けたあの年。顧りみればこの三十年阿久根市もいろいろなことがありましたが、市民一丸となりこれらを乗り越えてきたことに今日の繁栄があります。三十年の歩みを追ってみました。

27年 4月	市制実施。初代市長に松田進、市議会議長に牧内兵吉が就任する。
27年 5月	上水道給水を開始する。
28年 3月	戦災復興都市計画が完成する。
	海岸線一帯が阿久根県立公園に指定される。
28年 5月	三笠村が町制をしき、早水重雄初代町長となる。
28年11月	市営屠場と市場を設置する。
29年 4月	鶴川内中学校田代分校を、田代中学校に昇格。
29年 7月	戸柱山に護国神社が落成する。
29年11月	都市計画地区町名、地番変更が完了する。
30年 4月	三笠町を合併する。
31年 1月	脇本・黒之浜地区に簡易水道が完成する。
32年10月	市営自動車試験場を設置する。
32年12月	折多地区土地改良事業が完成する。

市制当時の市役所

三十周年記念行事

写真特集

「若者に魅力あるまちづくりに努めましょう」とあいさつする川畑市長

総合司会の三浦雅夫さん

市政発展に尽くされた方々を特別表彰

▷会場には市民八百人が出席。三十周年を祝う

◁「大阿久根市発展のため市、議会、市民一丸となり頑張ってください」とあいさつする鎌田県知事

市30周年記念 市政功労者表彰

◇地方自治部門

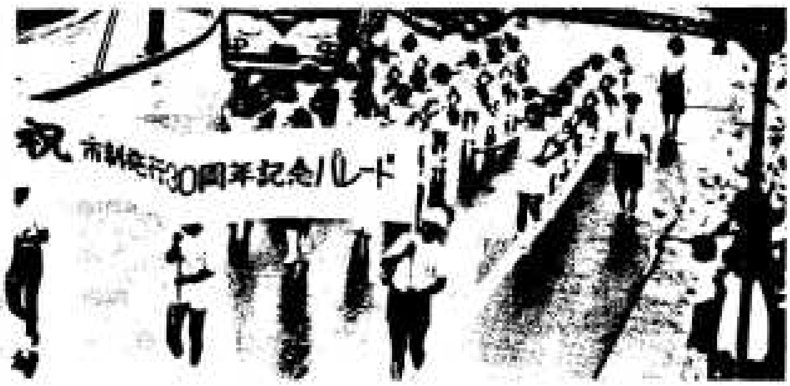
坂元善文　浜上信久　江良美千
代　白浜貫徳　生之浜水雄　中村
豊治　小野義成　中津浜実　冨吉
福蔵　大浦休次郎　羽田広　中野
勝雄　高原茂　上野重春　堀山正
吉　浜之上文雄　西荘吉　若松阪
二　黒崎定男　森山勝一　福田重
則　大田繁　奥平慶蔵　山下肇
松元辰三　海平良助　西田善蔵
京田喜平　双津末義　松永良進
宮園岩蔵　羽田義成　浜崎雅　大
橋一雄　橋崎一二　赤木義衛　山
下正雄　大庵国男　神之田月教
川原義弘　冨吉昭一　波留学　泰
寿　宮田寛治　橋房昭　花田猊市

◇教育文化部門

黒崎栄　峯徳栄　川崎右右衛門
松尾豐太郎　新坂邦　吉野清任
下薗重志　飯田節　関木藤雄　黒
神嘉樹

◇社会福祉部門

児玉利和　京田利雄　黒崎豊一
岩崎知止　白石喜代子　斉藤洋三
下薗昇　江野国憂　内山達四郎
田中二秀　塩樋岩雄　平清人　筒
井宗四郎　石原武　上園清吉　黒



受付風景（写真上）

式典に華を添えた園児と小学生による祝賀パレード（右）　市政の繁栄を祈ってバンザイ三唱（下）

▷地方自治部門で表彰を受けた白浜貫徳氏

主催者側、左から太田議長、新枦助役、川辺収入役、池田教育長

▷市民憲章を朗読する市内十二人の中学生

木築夫　浜之上九州男　古市哲朗
堀切正冬　大塚徳平　鳥飼忠尚
鳥飼忍　中原良徳　瀬戸口浩　橋
口菊弥　平みどり　上三垣弘二
田上始　梶尾孫兵衛

◇産業経済部門

平石正美　中園太市　山口友市
川崎正人　牧内猪之助　田野正治
中村良彦　谷口友三郎　上野才八
郎　池田穂積　坂元氏蔵　白浜信
彦　跡上休作　野村京春　植村利
治

◇一般篤行部門

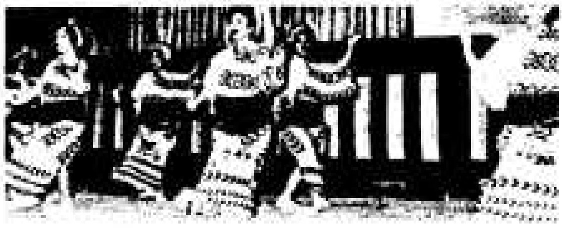
武田知三郎
阿久根ライオンズクラブ
阿久根ロータリークラブ

30周年おめでとう
近畿地区阿久根会　盛大に総会

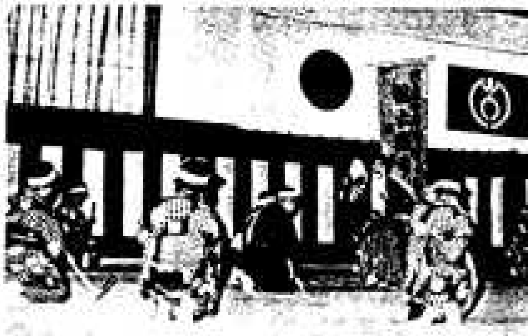
近畿地区阿久根会（田原克己会長）の総会は五月八日東大阪市で開かれ、家族を含め会員二百三十人が出席しました。

総会には市から川畑市長、太田議長、枦商工会議所会頭なども出席し、阿久根市の三十周年と会員の健康を祝し、親睦を深めました。

なお、同会より、市に本でも買ってくださいと、総会で募金した八万二千三百六十円が寄付されました。ありがとうございました。



祝賀会で郷土芸能を披露する「ハンヤ節」の浜婦人会（上）　棒踊りの赤瀬川区（右）　民謡の松永徳栄さん（左）



▷「あぜろく踊り」の山下校区婦人会

◁「はちらき踊り」の松ヶ根区のみなさん

祝賀会の行われた市民体育館

護衛艦「くらま」に一五〇〇人

艦上は市民の見学でにぎわう

三十周年記念事業の一つ"自衛艦公開"が五月十七日行われ、市民千五百人が乗艦し、艦内を見学しました。

「くらま」は排水量五千二百ﾄﾝ、長さ百十九ﾒｰﾄﾙ、乗員三百七十四人で自衛艦では最大最新鋭の船。阿久根大島と小島の間に停泊した「くらま」に午前十時三十分川畑市長が表敬訪問、艦長に花束を送り歓迎しました。

一般公開は午後一時から行われ市民多数が乗艦、艦内を隊員の説明で回りにぎわいました。

隊員と一緒に記念撮影

健康をチェック
サンライフ健康展

サンライフ健康展は五月十四日から十六日までの三日間、新

悪天候の中熱戦

全日本実業団男子ソフト　九州地区予選会

全日本実業団男子ソフトボール大会九州地区予選は五月29、30日の２日間市の総合グラウンドで行われ、九州各県の予選を勝ちぬいた16チームが参加。悪条件の中で熱戦をくりひろげました。

あいにくの雨にたたられ開会式も勤労者体育館で実施。試合もグランドコンディションが悪く、30日の午前10時から始まり、日程を短縮、全国大会出場チーム４チームを決め、準決勝、決勝は行れませんでした。

市民の心を魅了した国分自衛隊音楽隊の演奏

明日の電信電話展

市民会館で五月十四日・十五日の二日間行れ、寺島宗則コーナー、電信電話の歴史、電話のしくみなど展示され、市民多数がつめかけにぎわいました。

装オープンした保健センター、働く婦人の家を会場に行われました。

館内には、血圧測定や医師、保健婦による健康相談、尿や貧血の検査、またパネル展示や貧血予防の料理の見本なども展示され、つめかけた市民のみなさんも健康について知識を深めていました。

健康食について　勉強する市民の方々

阿久根を県下にPR
MBCTV「おくさまワイド」で

市制施行を記念して五月五日南日本放送（MBC）では、同局番組「おくさまワイドMBCですこんにちは」を阿久根市から県下に生放映。阿久根の観光名物などPRしました。

漁協の二階ホールにおくさまワイドのスタジオをセット。午前十時二十五分浜婦人会による相撲取節でスタート、川畑市長による阿久根の紹介や水揚での インタビュー、産物の紹介など一時間二十分放送しました。

会場のホールには市民多数がつめかけ初めての生放送を興味深く見入っていました。

阿久根を紹介する川畑市長

昭和56年度総合表彰式

納税功労者など表彰

阿小子ども銀行ほか個人二百七人、団体百十三

昭和五十六年度の総合表彰式は五月十四日市制三十周年記念式典と併せて行われ、納税功労者や農政協力者、水産業功労者など個人二百七人、団体百十三人が晴れの表彰を受けました。

各部門における表彰は次のとおりです。

優良貯蓄団体として表彰を受けた
阿久根小子ども銀行

各部門表彰

農林部門

▼優良小組合　丸内　永田上　木佐木野　瀬之浦上、桐野上

▼優良機能集団　イチゴ部会鶴川内支部　メロン部会中村支部　桐野麦・大豆振興会　三笠町農協キュウリ部会　小湊ビワ部会　山下馬場竹林振興会

▼農政協力者　石沢正徳　河南貞二郎　白浜末義　石沢悟　八郷繁　山平正弘　大野貞夫　谷口仕男　熊越誠吾　川崎正人　尾崎弘行　中原實雄　川北義衛　牧内静興

▼優良農林業経営者　田上勇　坂口市蔵　松崎豊喜　古川澄義　新留長雄　京田道弘　柏木重実　落友治　寺下定　池崎順徳　西田喜一　渕上広　迫口保雄　田上淳　堀切隆男　簡峯吉　杉本正男　松永時義　仮屋園明　山元正和　河北正人　根比隆雄　中村忠　浜上洋　峯徳一

▼農業後継者　根比進　根比幸治

水産商工部門

▼水産業功労者　坂元良次　立野昇　大田健一　福浦幸吉　福浦孝夫　倉津正道　倉津清　越川義雄　巻木満男　浜田務　東園寅雄　中野満一　尾塚新

▼観光事業貢献者　野村俊治

▼観光事業貢献団体　浜婦人会

▼商工業貢献者　㈲ホンダオートさつま　㈲ひさご旅館　駅前通り会　社団法人北薩法人会阿久根地区法人会　㈱田原運送　㈲貴島鉄工所　港橋通り会　新町通り会　王川一男

▼優良従業員　上牧安夫　西田太市　大田正彦　高津一子　井上太郎　田下福安　伊瀬　寺下梅子　堀切麗子　川野義友　遠矢孝子　新立剛弘　脇園實雄　大石一男　川畑スマノ　山下ハルエ　波留徹　石沢利夫

福祉部門

▼老人福祉関係
弓木野長寿会
大川校区老人クラブ連合会

水道部門

▼水道功労者　大田行雄　春田務氏　野村静雄　大石才吉

区長永年勤続表彰

勤続五年以上
白浜末義　石沢悟

優良貯蓄団体

▼優良貯蓄団体
中織ニット株式会社　国立療養所阿久根病院　阿久根小学校子供銀行

誕生おめでとう

出生児	保護者	区名
上村　由香	幸生	栫
大河　周一	實吉	上野
長田めぐみ	正利	上野
坂元　友香	清蔵	浜
浜田　瑠子	栄	上野
釣井美代子	英雄	永田上
大曲　里美	清隆	寺山
岩崎　公美	啓介	大川島
東田真奈美	洋行	潟
築地新真樹	一広	中村
砂畑　峰男	忠友	高之口
上野　泰山	義一	陳之尾
亀川　鳴美	豊盛	段
折橋　寛尚	嘩典	上野
川辺　敏行	行雄	高之口
東　絢乃	勝臣	上野
松永　新吾	新市	牛之浜
浜田さやか	徳蔵	的場
寺園　穎	健二	遠矢
大谷　康弘	勝	下村
島中弘一郎	清昭	黒之浜
神之田梨紗	清孝	倉津
梅山　雄太	広志	浜
吉野あゆみ	栄治	高之口
押田　幸雅	康行	大丸
秀平満寿恵	光弘	浦
石原　恵美	清徳	段

納税関係表彰

◇納税功労者

（ ）は納期内完納一等優良団体としても表彰

東啓造（高松）松下秀雄（大林）新留親治（永田上）上野勇吉（丸内）芝越信蔵（米次）尾原淳（尾原）中野義美（田代中）田原朝雄（田代下）西牟田学（木佐木野）高屋茂（長谷）谷口住男（上桑原城）上鶴行夫（下桑原城）中原義信（宮原）中村茂（横手）羽田義成（莨野）上野斉造（羽田）迫田富夫（弓木野）枦光男（飛松）吉野文吉（枦）馬見塚四男（大川島）花園義隆（馬見塚）川畑政治（落
川畑富蔵（本之牟礼）神之田政美（仲仁田）花田豊美（川畑中）奥平武夫（中屋敷）花田貢（的場）寺地九州男（尻無上）下薗強壮（尻無中）寺地鉄夫（尻無下）迫田時雄（筒田）池崎順徳（桐野下）松崎義行（大渕川）楠木澄雄（瀬之浦上）赤木茂吉（楊之浦西）笠井政江（聖園老人ホーム）内山陽子（特老桜ヶ丘荘）斉藤洋三（蓮の実園）脇之園忠夫（愛和園）平石政美（三笠町農協納税組合）野村金蔵（野村水産納税組合）小園槇（町納税組合）野崎勲（脇本郵便局納税組合）跡上休作（久丸納税組合）黒永勉（市役所納税組合）

◇国民年金功労者

大石安雄 東啓造 紗畑寛 岩下ミツ子 浜崎シズ 宮園岩蔵 西園生子 倉津武三 野口末一 冨吉貞吉 黒崎兼弘 中津浜清 奥吉猶 田畑亀次郎 古賀几 富永岩吉 嶋矢之助 柿末彦 上野齊造 谷口住男 上鶴行夫 中原義信 中村茂 羽田義成 高屋茂 西牟田学 尾原淳 芝越信蔵 中野義美 田原朝雄 盛永義行 植村徹 永井野浩 迫田富夫 中野貞雄 新留親治 松尾直義 中平次男 松下秀雄 寺脇隆喜 大下本松夫 上野勇吉 上野種次 佐過行雄 西田一治 枦光雄 吉野文吾 川畑政治 馬見塚四男 花園義隆 川畑富蔵 牟礼安美 神之田政美 奥平武夫 花田貢 花田豊美 寺地九州男 下薗強壮 寺地鉄夫 小浦時衛 白浜末義 石沢正徳 宮原秀義 迫田時雄 茶縁實雄 池崎順徳 松崎義幸 楠木澄雄 小村二年 八郷繁 近藤武 赤木茂吉 石本嘉利 富浜徳衛 早水純雄 小田正美 石沢悟 外戸口光義 石沢正則 八郷政憲

◇たばこ販売功労者

林七郎 寺地ケサギク

国民宿舎補正予算など審議

第一回臨時市議会

第一回臨時市議会は五月二十五日開かれ、専決処分の承認二件、議案一件が原案どおり可決されました。

承認二件は、市税条例と国民健康保険税条例の一部改正の専決処分でした。このうち市税条例の改正の主なものは、低所得者層の負担の軽減を図るため条例で定めている所得以下の者に対して均等割を課さない金額を、現行の「十八万四千円」を「二十万円」に改める条例改正など、国民健康保険税の一部改正は、健康保険の課税限度額（保険税の最高額）を、これまでの「二十六万円」から「二十七万円」に、軽減判定基準額を現行「十七万五千円」を「十八万円」にそれぞれ引上げる条例の改正などでした。

議案一件は、国民宿舎特別会計の補正予算で、歳入歳出にそれぞれ、一千三百九十七万八千円を補正し、予算総額を二億七千二百五十二万九千円としました。

ご冥福をお祈りします

赤坂　源吉	93	（上桑原）	豊
白浜ツルエ	84	（高　松）	貫行
田口　ツモ	87	（高　松）	智子
園田　隆文	72	（新　町）	ヒロ
岩崎　實雄	55	（　鶴　）	テミ
久保　シケ	92	（大　尾）	春子
上鶴　祐行	19	（上桑原）	行夫
早水　親治	82	（新　町）	忠雄
吉永　栄蔵	87	（新町）	内山陽子
高口オトマツ	78	（高之口）	半二
武田　長英	72	（新　町）	楠恵
塩津ミチエ	64	（　浦　）	正三
中野ミドリ	62	（田代中）	實
新枦　三助	81	（飛　松）	勝記
中面　藤雄	60	（大　下）	シヅエ
川畑　仙市	50	（中屋敷）	チル
楊之浦クサギク	74	（楊之西）	ミネ子
坂松　ユキ	87	（古　里）	クニ子
梶尾スマ子	44	（黒之浜）	昭八

郷土の民話集につづいて

阿久根の文化財

ができました

人々の生活に深くかかわってきた神社、寺院、田ノ神など郷土の文化財にまつわるおもしろい、いいつたえなどが収められています。
写真もいっぱいです。

総入・上製本　三六〇頁
価格　一、五〇〇円

市立図書館で発売中！

たばこは
市内のお店で
買いましょう

ボクシング

高校総体いよいよ本番
開幕へまっしぐら

本番まであと四十日余り、総体への準備は追い込みに入っています。
先月号では大会の準備についてお知らせしましたが、今月はボクシング競技の見方、採点などについて紹介します。

健康と精神力のスポーツ

ボクシング競技の見方

ボクシングは頭脳とスピードとテクニックをもっとも合理的に活用して競技する科学的なスポーツです。

このボクシングも最近茶の間のスポーツになってきましたが、そのほとんどがプロボクシングのスリルと迫力だけの魅力にひかれ、スポーツとしてのアマチュア・ボクシングにはあまり理解がないのが実情のようです。

プロボクシングはスリリングなファイトが売りもので、一つのショーです。けれどもアマチュア・ボクシングはショーではない。健康な人づくりを目的とするスポーツです。このため、攻撃よりも防ぎょ、パンチよりもテクニック、むきだしの闘志よりもフェアなスポーツマンシップが尊重されます。

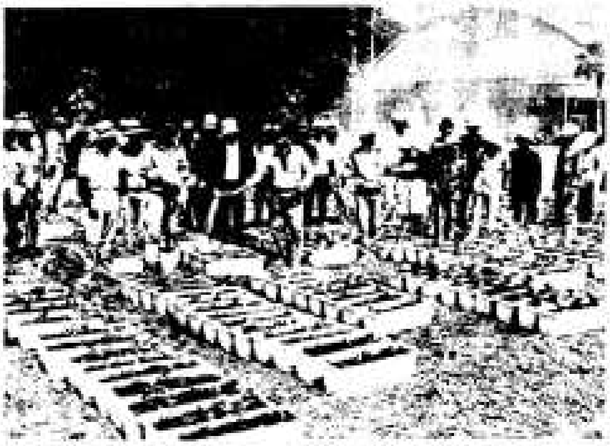
アマチュア・ボクシングは健康と精神力をつちかう最適なスポーツです。

「アマ」と「プロ」の見方のちがい

スポーツマンシップを高く評価するアマチュアは反則がとくにきびしく違反行為などはすぐストップして注意をあたえ、警告して減点されます。

採点もナックアウトのスリルを歓迎するプロにくらべ、功防のバランスのとれた美しいボクシングを主体にしています。

強いパンチよりもうまいテクニックがアマチュア・ボクシングの本領です。体育を目的とする以上健康管理が優先するのがアマチュア・ボクシングの目的です。



花いっぱい運動に協力する老人クラブのみなさん

採点法

プロの採点法は五点法ですが、アマチュアは二十点法で、ジャッジは得点評価の基準にしたがってラウンドごとに優勢なほうに二十点、劣勢なほうに減じた点数をあたえ、互角の場合はともに二十点をあたえます。

三ラウンド終ったあと、得点を合計してポイントの多いほうを勝にします。合計点が同じ場合は、第一に主導権をにぎるか、よりよいスタイルを示した者、もし、これできまらなければ第二によりすぐれた防御を示した者の順序で必ず勝者をきめ、引き分けは認めません。

レフェリーとジャッジ

アマチュアの審判は、一人のレフェリーと三人（または五人）のジャッジで行います。レフェリーはリングの最高支配者で、競技に関する限りKOでもRSCでも失格でもいっさいの決定権をもっています。リンクサイドのジャッジは規則にしたがい自主的に採点して勝者を決めます。

災害を受けたときは税の減免手続きを

これから梅雨期に入りますが、この時期には、豪雨による被害が発生することがあります。

風水害や震災、火災などによって大きな被害を受けた場合は、税金の面でもいろいろな救済措置が設けられています。

万一、災害に見舞われたときには、その被害金額をまとめておいてください。その金額が所得の十分の一を超えると税金が安くなります。

また、災害によって住宅や家財の半分以上が損害を受けた場合は災害減免法という法律で、所得に応じて所得税が軽減、免除されます。

もし、不幸にも災害に遭われた方は、一応、生活が落ち着かれてからでも最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

県観光写真
8ミリ映画コンテスト

○主催　鹿児島県　鹿児島県観光連盟

○画題　自然、史跡、民俗行事、特産品など、広い視野に立って観光鹿児島の魅力を表現するもの

○種類　カラースライド、カラープリント、白黒プリント、カラ8

高校生は二分間で三ラウンド
ヘッドギアを着用

ラウンドとグローブ

高校生は二分間で三ラウンドです。

ラウンドとラウンドの間には一分間のインターバル（休憩）時間があります。

アマチュアは三回だからプロより楽だと考えがちですが、ラウンドの長短はスタミナを短時間に使いつくすか、長時間に分散して消費するかの違いです。

アマチュアは全速力で疾走する短距離ランナーで、プロは緩急走法で走る中距離走者のようなものです。両者の疲れかたにはそれほど違いはありません。

リングにあがる高校生は必ずランニング・シャツを着ます。またグローブもプロより重い十オンスを使用します。

肉体的に未完成な高校生の競技は、とくに頭部を保護するためにヘッドギアを着用します。

反則

選手の違反行為にたいして、レフェリーは注意をあたえたり、警告したり、失格にすることができます。注意はポイントに影響しませんが、警告をあたえた場合はジャッジは一点減点できます。

レフェリーから三回警告を受ければその選手は失格となります。

お年寄りの生きがいを考える ②

目標のない人生ほど寂しいものはない

長くなった老後を心身ともに健やかに生きるためには、まず、生きがいを見つけることが大切ではないでしょうか。今月はこの生きがいについて考えていきたいと思います。

生きがいとは

私はある老人クラブのお年寄りたちを訪ね、この生きがいや趣味などについて語り合っていただきました。

ここの老人クラブはゲートボールが好きな人が多いらしく、毎日のように広場に集まりゲートボールを楽しんでいる。

生きがいとは…幸せを感じ張りのある生活…

まず、趣味については、あるお年寄りは〝野菜や花をつくること〟また、〝ゲートボールが趣味〟という方もいました。〝何も趣味はない、百姓に頑張るのが趣味〟というお年寄りもあり〝歌を歌ったり三味線を弾くこと〟〝書道〟〝盆栽〟などそれぞれ個人によって趣味が違うのが分かりました。

今、一番の楽しみについては、〝ゲートボール〟〝仲間との温泉旅行〟〝子供たちの成長〟など、このような話もありました。〝孫の世話とか子供たちの世話はもうしたくない。今は自分で楽しく生きるのが一番〟……

それでは、あなたたちの生きがいは何ですかとの質問には、ほとんどのお年寄りが〝朝起きて仏だんを済ませ、庭に出て花や自分が育てた木を見て回り、健康で病気せずに元気で毎日を楽しく暮せること――〟これが今のお年寄りの生きがいなのでしょうか。

生きがいとはそれぞれ個人的に違うもので、何をするかは人によって違うと思います。生きがいとは幸せを感じ、張りのある生活を送る……これも生きがいの一つだと思います。

「ゼニもうけだっていい、遊びだっていい、何か一つのことをやり通して、気がついたらもう自分の最期を迎えていた。これが人間の幸せというもんだよ」これは生前の今東光和尚さんのお話し。生きがいには〝魔法の処方せん〟などなく、日常の小さな努力を地道に続けていくことから生まれてくるというのでしょうか。大切なことは、どう生きたかではなく、これから先どう生きるか――さまざまな分野で生きがいを見つける努力をしたいものです。

ミリ映画
○賞　県知事賞ほか
○しめ切り　七月三十一日まで

詳しいことについては、県観光連盟（〒892鹿児島市名山町九～一☎0992㉒9171）又はお近くのカメラ店で。

国民年金

保険料免除の手続きは早目に

国民年金の保険料は、一か月五二二〇円ですが、失業や収入が低いため生活が苦しく、保険料を納めることができないときは、本人の申請により保険料が免除されます。

免除を受けると、免除されたあいだの年金額は本来の年金額の三分の一になりますが、保険料を納められないからといってそのままにしておくと、将来年金を受け取れなくなります。

免除された人が、その後生活に余裕ができたときは、十年前までさかのぼって当時の保険料で納められます。

詳しくは、市の国民年金係へおたずねください。

丸内に粗大ゴミ処理場完成

県下一、アルミの選別も可能

市内丸内の北薩衛生処理組合塵芥（じんかい）処理場に、このほど県下一の施設を持つ粗大ゴミ処理場が完成、操業を始めました。

同処理場は出水、阿久根、高尾野、野田の二市二町の広域施設。

これまで空カン、ビン類などは収集していましたが、不用になったテレビ、冷蔵庫、洗濯機など粗大ゴミは収集してなく、各家庭では粗大ゴミの処理に困っていました。

稼動した粗大ゴミ処理場

処理場では、収集された粗大ゴミを自動的に鉄分、アルミ、燃えるものと燃えないものの四つに区別し処理するもので、アルミ類の選別施設は九州でもここだけ。

現在一日約三十トンの粗大ゴミの処理能力で、総事業費二億七千三百万円。

丸信シャツ㈱操業開始

男子シャツを製造

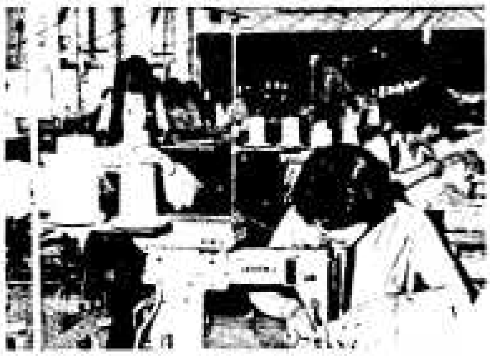
阿久根市が誘致していた丸信シャツ株式会社が五月十七日から本格的に操業を開始しました。

丸信シャツ㈱は大阪の都島区に本社を持つ男子シャツの縫製が主な業種。

阿久根工場は、市内潟の北陵学園跡地を工場に、地元で採用した従業員四十二人でスタート、裁断から縫製まで一貫した作業により月産二万枚の男子シャツの製造を目標にしています。

工場では将来従業員を百五十人に増員する計画も立てており、雇用拡大に大いに役立つものとして期待されます。

なお、同工場では従業員を募集しています。詳しいことについては同工場におたずねください。



操業が始まった丸信シャツ㈱

短歌

阿久根短歌会

逝きしよりのちに生れて妹の知らざる孫が妹に似る　　松永　光志

子の話子持たぬ友には語るまじ緑の風のかをる湯の宿　　橋崎　サチ

友の墓に香たきをれば我が肩にをりをり桁の雫おち来る　　森田伊佐子

それぞれの夢を託して新婦の人らが植ゑし楷樹おさなし　　松永　政志

祝ふべき節句日今日は満洲に飢え死なしめし吾子の命日　　時任　典子

「旧仮名遣ひ」

折田　憲司選

川をきれいに大切に

五月二十一日から六月二十日までのこの期間を河川愛護月間と定め、河川愛護運動が実施されています。

この運動は、住民の間に河川を大切にし、きれいにする気運を育成し、住民自らが河川の愛護作業に参加することによって河川に対する認識を深めてもらい、河川の美化と住民の福利を増進しようとするものです。運動の成果が十分あがるよう皆さんのご協力をお願いします。

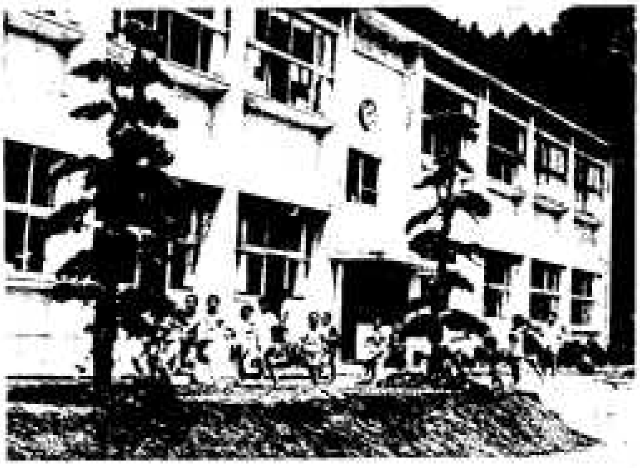
七月から老人医療費受給者証がかわります

市が対象者の方々に交付していました受給者証の有効期間は六月三十日までです。七月一日からは黄色の新しい受給者証にかわります。まだ更新の手続きをされていない方は、市役所福祉事務所におたずねください。

わたしたちの学校 シリーズ ⑮

尾崎小学校

学級数	4
児童数	45人
校長	尾曲文男



走れ走れ山坂遠者

深く考え たくましく 実践する子どもに

ぼくたちの学校は、市がい地から車で約十分の山あいにあります。ふく式学級が二つで先生方九人、児童数四十五人の小さな学校です。

昨年から、県の山坂遠者実践推進指定校として、毎朝走ったり、いろいろな運動をして体力づくりに励んでいます。

近くタイヤ塔などの施設や山坂一周コースもできるそうです。雨の日も体育館でがんばっています。

まだ心の勉強も大事ですので、一人一鉢運動をしようと、おち葉などをじゅんび中です。

そして、りっぱな菊の花を咲かせようとはりきっています。

ぼくたちも菊のように、きれいな心でいたいです。

心も体も美しく強い尾崎小の子供になるよう努力を続けたいと思います。

児童会長 六年 川崎徹志

校歌

一、朝日に映える 群山の
みどりの風は 子らをよぶ
明かるい丘の 学び舎に
きょうもたのしく元気よく
学ぶわれらだ 尾崎校

学校のあゆみ

明治27.	1.	—	山下小学校尾崎分教場
大正14.	4.	1	2学級 職員2名
昭和21.	4.	1	3学級 （単式学級編制）
〃 23.	3.	29	分教場から小学校に昇格認可
〃 23.	4.	1	尾崎小学校と改称（学級数5）
〃 27.	5.	1	阿久根市立尾崎小学校と改称（市制施行）
〃 32.	7.	15	水道施設完工
〃 37.	11.	10	給食室落成、給食婦配置
〃 37.	11.	15	完全給食開始
〃 40.	2.	16	校歌制定
〃 43.	2.	12	明治百年記念植樹（学林地）
〃 46.	7.	23	豪雨災害（上校舎裏土手・運動場・水道施設・石垣等流失）
〃 46.	12.	23	豪雨災害工事竣工
〃 47.	5.	22	校庭芝植込み
〃 48.	11.	29	地区研究協力校
〃 53.	4.	12	開校30周年記念講話
〃 53.	9.	5	屋体建設起工式
〃 54.	1.	10	屋内運動場落成記念式典
〃 55.	3.	15	校舎落成記念式典 祝賀会
〃 56.	1.	7	運動場造成工事竣工
〃 56.	3.	7	屋内運動場・校舎・運動場落成記念石碑除幕式ならびに祝賀会
〃 56.	4.	6	県指定 山坂遠者実践推進校として発足（2年間）

音楽の都ウィーンから訪れる少年モーツアルトたち

ウィーン・モーツァルト少年合唱団

期日 七月二十六日(月)
場所 阿久根市民会館
開演 午後六時三十分

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。（敬称略）

大田長義（尻無中）盛永良平（尾崎）長尾美幸（段）花木清美（的場）高口嘉吉（高之口）中面シツエ（大下）早木忠雄（高之口）坂松クニ子（古里）新枦勝記（飛松）

☆**特志寄付**（一円玉寄付）

飛松の小原庄吉さま

広報送付お礼にと次の方々から金一封をいただきました。

○東京在住の的場義次さん
○神川県平塚市の若松正文さん
○愛知県豊川市の松下正利さん

ありがとうございました。

人権擁護委員に 寺地伊佐夫さん

人権擁護委員に寺地伊佐夫さんが法務大臣より再任され委嘱されました。

人権擁護委員は人権問題で悩んでいる人のみ近な相談相手として問題の解決に当ってくれます。

住所は阿久根市大川三九四〇番地壱④〇一〇九番です。

毎月第二水曜日は

交通事故相談日

—市民相談室—

ミニ話題

親子づれなど六百人がスケッチ

阿久根郵便局主催の親子スケッチ大会が五月十六日中央公園で行われました。

年々盛んになるこの大会。今年も市内の園児、小学生や家族づれ六百八十人が参加しました。

広い公園も子供たちで一ぱい。木かげや階段、芝などそれぞれに陣どり、市街地や港、阿久根大島をバックに絵筆やクレパスを走らせていました。

ソラマメを皮ムキ 余暇利用と機能回復に役立つ

[illegible]のお年寄り

目は不自由でも手先は器用です。

市民のひろば

すこやか

奥　裕理ちゃん　11か月

(奥 寛吉さんの長男　市内山下遠矢)

早水ツルさん百五歳に

県下で五番目、まだまだ元気

川畑市長からお祝いを受ける早水ツルさん(左)

市内新町の特別養護老人ホーム「桜ケ丘荘」に入園されている早水ツルさんが、五月二十日百五歳の誕生日を迎え川畑市長や入園者から祝福を受けました。

早水さんは明治十年生れ、五十五年までは黒之浜に住んでいましたが、この年の暮れから同ホームに入園しています。

目と耳が少し不自由なほかは元気で、食べものは何でも好き。長生きのコツは「よく寝むり、くよくよしないこと」とか。

この日は川畑市長が果物とタオルケットを持参「もっともっと長生きしてください」と祝福。ツルさんはお礼に「ハンヤ節」を踊り元気なところを見せていました。

なお、早水さんは県下で五番目、川水地区では最高齢者です。

マイペースで

全員完走

市内完走歩大会

阿久根小を一斉にスタート

自分の体力に合ったペースで完走しよう――と、第七回目を迎えた市内完走歩大会が五月九日行われました。

コースは阿久根小グランドをスタートして田代県道を走るそれぞれ三キ、五キ、十キ。今年も七十七歳のお年寄を含め、小中学生、一般九十七人が参加しました。

午前十時一斉にスタート。沿道には市民多数出て元気に走る選手に声援を送っていました。

——と今年も市内波野の「運の実園」のお年寄りたちがソラマメの皮ムキ作業に精出し、機能回復と余暇利用に役立てました。

この皮ムキ作業、阿久根市農協がムキ実で販売するために五月十二日から二十五日まで、同園にお願いしたもので、園では農協から運ばれた一日平均五百㌔を、お年寄り三十人が出て皮ムキ。楽しく語り合いながらテキパキと処理、この十四日間に八千㌔を仕上げました。

皮ムキに頑張るお年寄りたち

西目小こども郵便局
郵政大臣表彰を受ける

西目小学校のこども郵便局がこのほど郵政大臣から最優秀こども郵便局として表彰されました。

こども郵便局は昭和二十五年に発足し、これまで毎週一回貯金日を決め、おこずかいなど節約した五百円、千円をコツコツと貯金していました。こうして貯金額も昨年末には千七百万円にもなりました。同校では「お金の値うちがわかり、むだ使いがなくなった」と評価し、大臣表彰を喜んでいます。

“ひな女祭り”にぎわう
望美ちゃんら四人が披露

背中におんぶされて披露される「ひな女」

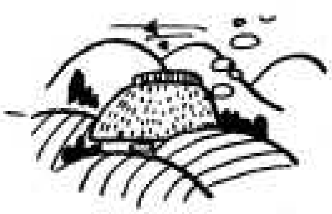
赤ちゃんを背中におんぶして踊る佐潟区の「ひな女祭り」が五月一日行われました。

この「ひな女祭り」は、毎年旧暦の四月八日釈迦（しゃか）の誕生日に行れているもので、釈迦にあやかり末長く幸せに生きて—との願いと、背中におんぶするのは〝よか嫁さんにどうぞ—との願いが含まれている。今年一年間に生まれた長女が「ひな女」役。

今年の「ひな女」は四人で三人が佐潟出身。京都の尾塚諸市さんと和枝さんの長女望美ちゃん、大島郡喜界町の猿楽八郎さんと智加子さんの長女美穂ちゃん、大丸の猿楽啓市さんと安子さんの長女智子ちゃん、それに地元の佐潟正市さんと米子さんの長女恵ちゃん。

薄化粧に晴れ着の「ひな女」たちは地区民多数が待つ公民館へ次々と登場。三味と太鼓が鳴って踊りの始まり。「ひな女」たちは祖母から祖父、父母親族と次々と踊りつがれ、地区民に披露され、この日一日佐潟区は「ひな女祭り」一色につつまれていました。

阿久根の民話 ⑤



豪傑（ごうけつ）田のどん

大川尻無に幕末から明治初年にかけて活躍した「田のどん」と呼ばれる郷士の豪傑—松下田之助がいました。

田のどんは、明治維新を迎えるといろいろな公職のすすめもありましたが、それらには一切耳を傾けず、農業をして過ごしていました。

ある年の初夏のことです。田のどんは、尻無の奥地宇都川内（うどんこち）に牛の草を刈りに出かけました。宇都川内は隣の東郷村に属していたため農民たちが居合わせるとよく争いが起っていました。その日も田のどんが草刈りを終えて帰ろうとするところに、東郷村の農民が来合わせていやがらせを始めました。

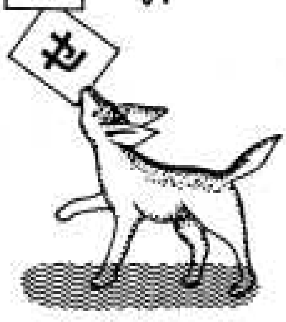
田のどんは腹を立て、こらしめてやろうと思い「鎌をよこせというならやってやろう」と二人の前に鎌をさし出しました。そして、それを受け取ろうと鎌の刃を握ったとたん、田のどんは急に鎌の柄を引いたのでした。大変なことに東郷村の男の四本の指は、第一関節からぷっつりと切り落とされてしまいました。

やがて二十名ばかりの東郷勢が仕返しにやってきました。

農民たちは田のどんに庭に出て謝るよう要求しましたが、なかなか出てきませんでした。そこで農民の代表らしい若い男が部屋の障子を開け、床の間をのぞくと、田のどんは二・三本の大刀の手入れをしていました。田のどんはチラリと農民を見返し、大声で「何人来たか」と叫びました。農民は、どの刀で斬ろうかと思案している田のどんの姿にすっかり怖気づき「この家にうろうろしていると仕返しどころか逆に斬り殺されてしまう」と逃げるように帰ってしまいました。田のどんが、愛刀片手に庭先に出た時は東郷農民の姿は一人もなかったそうです。

行事催し物など
どしどしお寄せて下さい

お知らせ



明るい選挙推進の作文を募集

鹿児島県明るい選挙推進協議会出水支部では、明るい選挙推進のため次の要領で作文を募集しますどしどしご応募ください。

- •対象　小中高校生及び一般
- •課題　小中学生
  私たちの選挙
  大人の選挙を見て考えること
  高校、一般
  選挙について考えること
  この一票への期待
  その他明るい選挙に関するもの
- •字数　八百字以内
- •締切り　九月十日まで
- •提出先　市の選挙管理委員会

詳しくは市の選挙管理委員会におたずねください。

簡易保険、年金資金写真コンクール作品募集

簡易保険、年金の資金は、地方公共団体や政府機関に融資され、学校、住宅、道路、公園など「町づくり、社会づくり」に役立っています。

その融資施設を対象とした写真コンクールが実施されます。

締切りは七月三十一日まで、詳しくはお近くの郵便局に。

年三百四十円で一千二百万円補償
スポーツ傷害保険加入受付中

スポーツ安全協会では傷害保険の加入者を募集しています。

この傷害保険はスポーツ少年団婦人会、青年団、スポーツクラブなどに加入している被保険者が団体のスポーツ活動中にケガをしたり死亡した場合に支給されるものです。

保険料は第一種A型で年間三百四十円で死亡の場合一千二百万円が支給されるほか、入院についても一日千五百円支給され、後遺症の場合も保険金が出されます。

スポーツ傷害保険についての詳しいことについては市教委社会体育課☎③1211内線314へ

消防設備士試験

県では、消防設備士試験を次の要領で実施します。

▽期日
八月八日（日）

▽試験地
(1)鹿児島実業高等学校（鹿児島市）
(2)大島支庁会議室（名瀬市）

▽願書の受付期間
六月二十一日～六月三十日まで
（六月三十日消印有効）

▽願書請求先
受験願書は、県庁消防防災課、大島支庁総務課、各消防本部、各町村役場にあります。郵送で願書を請求するときは、封筒の表に設備士願書請求と朱書し、六十円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封して、直接消防防災課あて請求してください。

▽願書提出先・問い合わせ先
〒八九二鹿児島市山下町14の50
県庁消防防災課予防係
☎〇九九二㉖八一一一内線二〇八二

6月は現況届の提出期間です
児童手当を受けている方へ

児童手当の支給を受けている方は、6月1日から30日までの間に「児童手当現況届」を市に提出することになっています。

現況届は、引き続いて児童手当を受けるための大切な手続きです。

この届けを出さないと、引き続いて受給できる資格があっても、6月分以後の児童手当の支払いを受けることができなくなりますから、必ず提出してください。

山下、鶴川内一部の国土調査にともなう杭打ちのお願い

阿久根市は国の指定を受け、昭和四十五年から国土調査を実施していますが、今回次の字についてすべての土地（宅地・田・畑・山林・原野・その他の地目）を調査します。

調査区域の方は六月三十日まで（ただし、山間部については七月十五日まで）に杭打ち作業を終るようにお願いいたします。

調査区域字名

（大字山下）堀、遠矢、小松田、櫨谷、久保、下谷、上谷、堀川、山下、新城、妻井田、奥、清源、松元、藤ケ迫、土橋、楠田、鳴川、片野、久保平、峯、籠、石山、徳ケ山、金石、蟲木、水俣木、栫、木場、尾崎、栗高、早畑、狩集、有田、永井野、川崎、石井手、氷田、麦地田

（大字鶴川内）迫ノ谷、後峯、乗越、横手、穴迫、宮原、山ノ口、坂ノ下、久ノ又、宇土迫、黒牟田